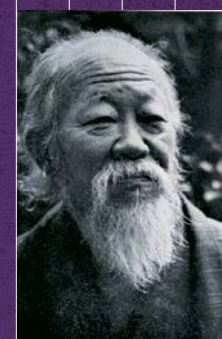




平成29年に記念の年を迎える
主なゆかりの文化人

- 青山胤通——— 医学者 [1859-1917] 没後100年
- 芥川龍之介——— 小説家 [1892-1927] 没後90年
- 石川淳——— 小説家 [1899-1987] 没後30年
- 伊東忠太——— 建築家 [1867-1954] 生誕150年
- 上田萬年——— 国語学者 [1867-1937] 生誕150年
没後80年
- 織田作之助——— 小説家 [1913-1947] 没後70年
- 折口信夫——— 民俗学者・歌人 [1887-1953] 生誕130年
- 河東碧梧桐——— 俳人・随筆家 [1873-1937] 没後80年
- 菊池大麓——— 数学者 [1855-1917] 没後100年
- 窪田空穂——— 歌人 [1877-1967] 生誕140年
没後50年
- 熊谷守一——— 画家 [1880-1977] 没後40年
- 幸田露伴——— 小説家 [1867-1947] 生誕150年
没後70年
- 小林清親——— 版画家 [1847-1915] 生誕170年
- 今東光——— 僧侶・小説家 [1898-1977] 没後40年
- 柴田錬三郎——— 小説家 [1917-1978] 生誕100年
- 津島佑子——— 小説家 [1947-2016] 生誕70年
- 夏目漱石——— 小説家 [1867-1916] 生誕150年
- 藤島武二——— 画家 [1867-1943] 生誕150年
- 正岡子規——— 俳人・歌人 [1867-1902] 生誕150年
- 宮武外骨——— ジャーナリスト [1867-1955] 生誕150年
- 森於菟——— 医学者 [1890-1967] 没後50年
- 森茉莉——— 小説家 [1903-1987] 没後30年
- 山本有三——— 小説家 [1887-1974] 生誕130年
- 横光利一——— 小説家 [1898-1947] 没後70年
- 萬鉄五郎——— 画家 [1885-1927] 没後90年



幸田露伴(昭和16年)
『幸田露伴全集』第21巻より

森鷗外をはじめとする、さまざまな分野の文化人が足跡を残した地・文京。

その代表的な文化人を顕彰し、文京区の多様な文化的資源を広く発信します。

今年度は、幸田露伴(生誕150年・没後70年)を中心に、さまざまな顕彰事業を実施します。

また窪田空穂(生誕140年・没後50年)、夏目漱石(生誕150年)などに関する事業も行います。

文の京ゆかりの文化人顕彰事業 関連事業案内

●森鷗外記念館

コレクション展「森家三兄弟—鷗外と二人の弟—」

本年は鷗外の弟・篤次郎の生誕150年の年。森家三兄弟の絆と二人の弟、篤次郎・潤三郎の生涯や活動を紹介します。

会 期：平成29年7月7日(金)～10月1日(日) 休館日：8/22、9/26
観覧料：300円(20人以上の団体240円)
同時開催：コーナー展示「あふれる言葉～森茉莉自筆原稿紹介」

特別展「鷗外を取り巻く慶応三年生まれたち—漱石、露伴、紅葉、子規、篤次郎—(仮)」

慶応3年生まれ(生誕150年)の文人たちとの交流を通して、鷗外の多彩な活動を紹介します。

会 期：平成29年10月7日(土)～平成30年1月8日(月・祝)
休館日：11/28、12/26、12/29～1/3 観覧料：500円(20人以上の団体400円)

開館5周年記念・特別講演会「鷗外 VS 漱石(仮)」

日 時：平成29年11月11日(土)午後
講 師：山崎一頼氏(跡見学園理事長)、中島国彦氏(早稲田大学名誉教授)
会 場：文京区民センター3A会議室 募集人数：200人(要申込・抽選) 参加費：1,000円
※詳細は記念館ホームページまたは区報をご覧ください(9月中旬頃掲載予定)。

コレクション展「観潮楼に訪れた画家たち(仮)」

鷗外の周辺に集まった画家たちについて、慶応3年生まれ(生誕150年)を中心に、書簡や雑誌などで紹介します。

会 期：平成30年1月13日(土)～4月1日(日) 休館日：2/26～27、3/27
観覧料：300円(20人以上の団体240円) ※1/19鷗外誕生日は無料公開日

同時開催：コーナー展示「父への想い～森於菟紹介」

図書室ミニ展示「鷗外と慶応三年生まれの文化人」

鷗外と交流のあった慶応3年生まれ(生誕150年)の文化人を、月ごとに2階図書室カウンターにてパネル展示で紹介いたします(*印は文京ゆかりの文化人)。

内 容：石橋思案*(7月)、幸田露伴*(8月)、野口寧齋(9月)、丸山晩霞*(10月)、
上田萬年*(11月)、藤島武二*(12月)、尾崎紅葉*(1月)、齋藤緑雨*(2月)、
沼田頼輔(3月)

問合せ：文京区立森鷗外記念館 〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4
TEL 03-3824-5511

開館時館：10時～18時(最終入館17時30分)
※中学生以下・身体障害者手帳等の提示の方と介護者1人観覧料無料

※ふるさと歴史館・森鷗外記念館 相互割引のお知らせ

- 歴史館入館券、友の会会員証、歴史館パンフレット(押印あり)提示
→森鷗外記念館観覧料が2割引
- 森鷗外記念館入館券、鷗外バス提示→歴史館の入館料が団体料金適用

●その他関連事業(申込締切・終了分)

記念講演会「明治の露伴、小石川を歩く—その文学と遊び—」

平成29年7月30日(日)14時～ 講 師：出口智之氏(東海大学准教授)
会 場：文京シビックセンター 26階 スカイホール(春日1-16-21)
定 員：100名(要申込・抽選) 参加費：無料

問合せ アカデミー推進課文化事業係 TEL 03-5803-1120

区制70周年記念 平成29年度 文の京ゆかりの文化人顕彰事業
平成29年(2017)7月7日発行

編集・発行：文京区アカデミー推進部アカデミー推進課
文化資源担当室(文京ふるさと歴史館)
〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-29 TEL 03-3818-7221
http://www.city.bunkyo.lg.jp/rekishikan/
印刷物番号 J0417007

文の京ゆかりの文化人顕彰事業 関連事業案内 参加者募集

朗読コンテスト(主催：文京区 主管：跡見学園女子大学)

◆コンテスト出場者募集

夏目漱石を課題作家として実施します。本選出場者を決める事前録音審査についての応募方法、期間等は、別刷のパンフレット、区報ぶんきょう、区HPをご覧ください(7月中旬頃掲載予定)。

◆本選 観覧者募集

日 時：平成29年10月29日(日)13時～16時
会 場：跡見学園女子大学プロッサムホール(大塚1-5-2)
定 員：300人(抽選) 観覧料：無料
申 込：応募はがき、FAX、メールに「朗読コンテスト観覧」・住所・氏名・希望人数を明記し下記へ。締切は9月25日(月)必着(以降は要問合せ)。

問合せ：跡見学園女子大学文京キャンパス事務室朗読コンテスト係
〒112-8687 東京都文京区大塚1-5-2
TEL 03-3941-7420 FAX 03-3941-8333 E-mail event@atomi.ac.jp

●アカデミー推進課文化事業係

区制70周年記念事業 幸田露伴生誕150年 没後70年記念

平成29年度企画展「幸田露伴—蝸牛庵が紡ぐもの—」

80年にわたる露伴の生涯や作品等をパネルで紹介するとともに、ご遺族や墨田区等のご協力により貴重な文化勲章や自筆原稿等を公開します。

会 期：平成29年7月30日(日)～8月8日(火) 時 間：10時～18時(最終日は正午まで)
会 場：文京シビックセンター 1階 展示室1ギャラリーシビック(春日1-16-21)
入場料：無料

平成29年度企画展「漱石とぶんきょう(仮)」

学びの地であり、最初の小説「吾輩は猫である」を書き、職業作家への道を決意し、その後の小説の舞台にもなった文京区を中心に 区民ならではの視点で夏目漱石を紹介します。「ぶんきょう」は漱石にとって、ゆかりの深い地です。

会 期：平成30年2月5日(月)～11日(日) 時 間：10時～18時(最終日は17時まで)
会 場：文京シビックセンター 1階 展示室2アートサロン(春日1-16-21)
入場料：無料

企画制作：文の京地域文化インタープリターの会

●アカデミー推進課文化事業係

問合せ 〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21 TEL 03-5803-1120

●(公財)文京アカデミー

文京アカデミア講座「明治の東京を生きる—露伴・鷗外・一葉・漱石—」

今年生誕150年、没後70年を迎えた露伴を含めた、文京区とゆかりの深い4人の文学者たちの眼に、東京はどのように映っていたのでしょうか。明治東京の諸相を読み解きます。

日 時：平成29年9月26日(火)・10月3日(火)・10月10日(火) 13時30分～15時30分
講 師：小仲信孝氏(跡見学園女子大学教授) 受講料：1,500円
会 場：跡見学園女子大学文京キャンパス(大塚1-5-2)
対 象：文京区内在住・在勤・在学者(15歳以上、中学生を除く) 定 員：40人(抽選)
申 込：往復はがきまたはWEB。詳細は財団広報紙「スクエア」8月号、区報8/10号及びホームページ(8/5以降)等でご確認ください。

シビックシネマサロン「吾輩は猫である」

今年生誕150年を迎える夏目漱石。彼の代表作であり、誰もが教科書等で触れたことのある作品「吾輩は猫である」を上映します。16ミリフィルムでノスタルジックな世界をお楽しみください。

日 時：平成29年10月20日(金) 13時10分開場 13時30分上映開始 費 用：無料
監 督：市川 崑 出 演：仲代達矢、波乃久里子ほか 1975年製作 116分
会 場：アカデミー文京レクリエーションホール(文京シビックセンター地下1階)
対 象：文京区内在住・在勤・在学者(15歳以上、中学生を除く) 定 員：100人(先着順)
※当日11時30分より整理券配付。定員になり次第締め切り。詳細は財団広報紙「スクエア」及びホームページ等でご確認ください。

問合せ (公財)文京アカデミー学習推進係 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21
TEL 03-5803-1119 http://www.b-academy.jp/

生誕150年
没後70年

幸田露伴

【こうだ・ろはん】

(1867～1947)
小説家・随筆家



幸田露伴 昭和5年
『幸田露伴全集』第19巻より

慶応3年、下谷三枚橋横町（現・台東区）生まれ。本名は成行、別号蝸牛庵。東京府第一中学、電信修技学校などで学ぶ。電信技士として北海道に渡るが、文学を志し帰京。『風流仏』で認められ、名作『五重塔』を発表し、同時期の尾崎紅葉と並び称される作家となった。代表作に『運命』『天うつ浪』『連環記』など。第1回文化勲章受章。昭和22年、千葉県市川市にて逝去。娘の幸田文、孫の青木玉、曾孫の青木奈緒も文筆の世界で活躍。

文京とのゆかり

年	年齢	事項
明治8年(1875)	8	東京師範学校附属小学校下等小学(湯島1)入学
明治13年(1880)頃	13	湯島聖堂の東京図書館(湯島1)に通い読書
明治29年(1896)	29	森鷗外主宰の雑誌『めざまし草』に連載の「三人冗語」(森鷗外、斎藤緑雨、幸田露伴による新作の合評)に参加
大正13年(1924)	57	小石川区表町66番地(小石川3)に転居
昭和2年(1927)	60	小石川区表町79番地(小石川3)に転居
昭和20年(1945)	78	小石川の家が空襲で焼失

生誕140年・没後50年

窪田空穂

【くぼた・うつぼ】
(1877～1967)
歌人・国文学者



窪田空穂記念館蔵

明治10年、長野県東筑摩郡和田村（現・松本市）生まれ。本名は通治。東京専門学校卒業。ジャーナリズムに関わり、女子美術学校講師を経て、早稲田大学で教鞭を執る。歌集に『まひる野』『冬日ざし』『老楓の下』などがある。湯島天神町(湯島3)、竹早町(小石川5)、久堅町(小石川5あたりか)などに住み、大正10年から雑司ヶ谷町(目白台2)に居住し、昭和42年、この地で逝去。

■窪田空穂記念館
長野県松本市和田1715-1
TEL 0263-48-3440



東京師範学校・明治7年新築の校舎

『東京高等師範学校沿革略史』(明治44年発行)より
附属小学校は下等小学(6～9歳)、上等小学(10～13歳)に分かれ、露伴が通った下等小学では綴方、習字、算術などの教科があった。

三人冗語同人 明治30年(1897)4月
文京区立森鷗外記念館蔵
観潮楼(鷗外宅、現・森鷗外記念館)の庭で。左から鷗外、露伴、緑雨。撮影は博文館の大橋乙羽。鷗外の座る石は現存している。『めざまし草』の「三人冗語」では、樋口一葉「たけくらべ」も激賞された。



小石川蝸牛庵にて 昭和4-5年頃 個人蔵

前列左より文、玉、幾之助(文の夫)、後列左よりたね(幾之助の母)、露伴、八代(露伴の後妻)。

生誕150年

夏目漱石

【なつめ・そうせき】
(1867～1916)
小説家



国立国会図書館蔵

慶応3年、江戸牛込馬場下横町（現・新宿区）生まれ。本名は金之助。帝国大学文科大学英文学科を卒業、松山、熊本で教鞭を執る。英国留学を経て、明治37年から小説を書き始める。明治40年、朝日新聞社に入社、新聞小説を連載。小石川表町(小石川3)、駒込千駄木町(向丘2)、駒込西片町(西片1)などに居住。駒込千駄木町の家は森鷗外も住んだことがある家であり、ここで『吾輩は猫である』を執筆した。代表作に『三四郎』『こころ』『それから』などがある。大正5年、牛込区早稲田南町（現・新宿区）で逝去。

文の京ゆかりの文化人顕彰事業 関連事業案内・参加者募集

●文化資源担当室・文京ふるさと歴史館

歴史講演会「幸田家のことば―露伴から受け継いだもの―」

関東大震災以降、露伴が移り住んでから、娘の幸田文、孫の青木玉、曾孫の青木奈緒、四代にわたり、小石川は幸田家ゆかりの地です。小石川での日々の暮らしのなかで受け継がれたたくさんの“ことば”について、家族のエピソードとともにお話をさせていただきます。

日 時：平成29年11月2日(木) 13時30分～15時30分(開場13時)
講 師：青木奈緒氏(エッセイスト・作家・幸田露伴曾孫)
会 場：文京シビックホール小ホール(春日1-16-21)
対 象：高校生以上 定 員：300人(抽選) 参加費：無料
申 込：往復はがき(1枚2人まで)に「11/2歴史講演会」・全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号と返信用にもあて先を明記し、文京ふるさと歴史館まで。締切は10月17日(火) 必着。



史跡めぐり「“慶応3年生まれ”のゆかりの文人を訪ねて(仮)」

日 時：平成29年12月13日(水) 13時～16時(雨天決行)
ガイド：ふるさと歴史館友の会「文京まち案内」ボランティアガイド
対 象：高校生以上 定 員：50人(抽選) 参加費：40円(保険料)
申 込：往復はがき(1枚2人まで)に「12月13日史跡めぐり」・全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号、返信用にもあて先を明記し、文京ふるさと歴史館まで。締切は11月28日(火) 必着。

特別展「季節のうた―歌人 窪田空穂 生誕140年・没後50年―」

50年以上もの年月を文京で過ごし、四季折々の風景を詠んだ歌人・窪田空穂。生誕140年・没後50年を記念して、その生涯、交友、作品世界を紹介します。

会 期：平成29年10月21日(土)～12月3日(日)
会 場：文京ふるさと歴史館 地下1階特別展示室
入館料：300円(20人以上の団体210円)
※11月3日(金・祝)は無料公開日



模型・目白台の家 三浦宏氏作
石崎幸治氏撮影 窪田空穂記念館蔵

特別展記念講演会「窪田空穂―くらし・家族・うた―(仮)」

日 時：平成29年11月19日(日) 14時～16時
講 師：白井和恵氏(相模女子大学名誉教授・東京福祉大学教授)
会 場：文京区男女平等センター(本郷4-8-3) 定 員：100人(抽選) 参加費：無料
申 込：往復はがき(1枚2人まで)に「11/19特別展記念講演会」・全員の住所・氏名(ふりがな)・電話番号、返信用にもあて先を明記し、文京ふるさと歴史館まで。締切は11月5日(日) 必着。

史跡めぐり「文京の文学史跡・文学碑を訪ねる(仮)」

日 時：平成29年11月10日(金) 13時～16時(雨天決行)
ガイド：ふるさと歴史館友の会「文京まち案内」ボランティアガイド
対 象：高校生以上 定 員：50人(抽選) 参加費：40円(保険料)
申 込：往復はがき(1枚2人まで)に「11月10日史跡めぐり」・全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号、返信用にもあて先を明記し、文京ふるさと歴史館まで。締切は10月25日(水) 必着。

ミニ企画「露伴最初の弟子、朗月亭羅文」

根津の酒屋相模屋に生まれ、露伴と親交があった文人・朗月亭羅文(瀧澤慎八郎)(1863-1891)について紹介します。

会 期：平成29年9月27日(水)～12月24日(日)
会 場：文京ふるさと歴史館 2階常設展示室ミニ企画コーナー
入館料：100円(20人以上の団体70円)※特別展開催時は一般300円(上記参照)

問合せ：文京ふるさと歴史館 〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-29
TEL 03-3818-7221

開館時：10時～17時
休 館 日：月曜(祝日の場合は翌日)、9/26、12/26～1/4、1/23、3/27

※中学生以下・65歳以上・友の会会員、身体障害者手帳提示の方と介護者1人は入館料無料
◆上記各事業について、開催日まで期間がある事業もありますが、申込開始日は特に設けませんので、順次お申込みください。当落通知発送は、各締切日から5日程度となります。